

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成19年>>

<週報> 第35週 (平成19年 8月27日 ~ 9月2日)

発行日: 平成19年9月5日

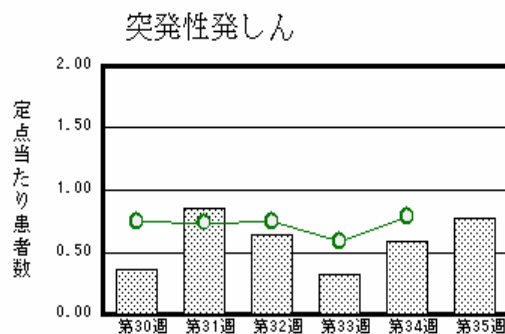
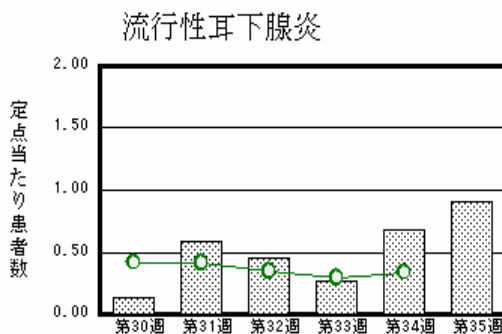
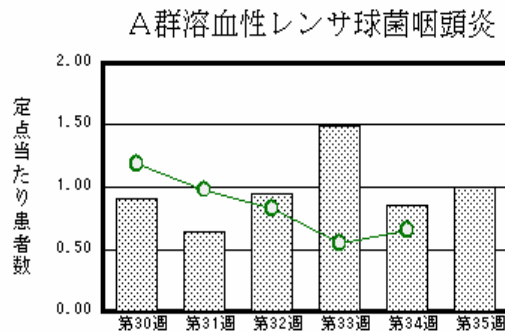
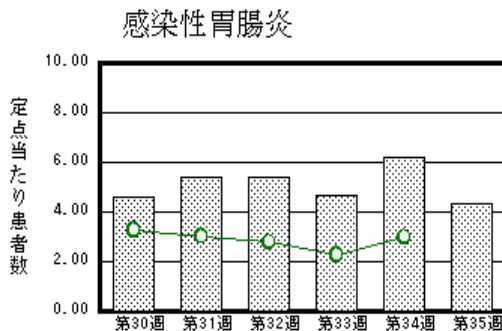
発行: 福井県健康福祉部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎96名(4.36名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎22名(1.00名) 流行性耳下腺炎20名(0.91名) 突発性発しん17名(0.77名) マイコプラズマ肺炎4名(0.67名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(96名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(22名) 流行性耳下腺炎(20名) 突発性発しん(17名) 伝染性紅斑(14名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は96名です。定点当たり報告数は減少しました(6.18名 4.36名)。地域別にみると福井地区8.57名、坂井地区4.67名、丹南地区2.60名、二州地区1.67名、若狭地区1.00名、奥越地区1.00名の順となっています。
4. 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は22名です。定点当たり報告数は増加しました(0.86名 1.00名)。地域別にみると奥越地区3.00名、坂井地区1.67名、二州地区1.67名、福井地区0.71名、丹南地区0.20名の順となっています。
5. 【流行性耳下腺炎】報告数は20名です。定点当たり報告数は増加しました(0.68名 0.91名)。地域別にみると二州地区5.33名、丹南地区0.60名、坂井地区0.33名の順となっています。
6. 【突発性発しん】報告数は17名です。定点当たり報告数は増加しました(0.59名 0.77名)。地域別にみると丹南地区1.80名、福井地区0.86名、奥越地区0.50名、二州地区0.33名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2007年第33週号(8月13日~8月19日)要点

発生動向総覧	<第33週> 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い/ その他最新動向 <7月> 性感染症・薬剤耐性菌感染症について
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 第33週の報告数は130例であり、発生動向には引き続き注意が必要である
病原体情報	ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌2007年 / 手足口病患者から検出されているエンテロウイルス2007年 / B群コクサッキーウイルス5型2007年
速報	2007年に沖縄県で検出された麻疹ウイルスの解析結果
海外感染症情報	コンゴ民主共和国でのポリオ流行 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://www.idsc.nih.go.jp>

全数届出の感染症(福井県)

- 1類感染症:報告はありませんでした。
- 2類感染症:結核2名の報告がありました。
- 3類感染症:報告はありませんでした。
- 4類感染症:報告はありませんでした。
- 5類感染症全数把握対象:報告はありませんでした。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 平成19年 第35週 平成19年8月27日(月)～平成19年9月2日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(34週)
インフル インザ (32)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを 除く)	1 0.09						1 0.03		302 0.07
小児科 (22)	RSウイルス感 染症									154 0.05
	咽頭結膜熱	3 0.43						3 0.14	4 0.18	917 0.31
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	5 0.71	5 1.67	5 1.67		6 3.00	1 0.20	22 1.00	19 0.86	1931 0.65
	感染性胃腸炎	60 8.57	14 4.67	5 1.67	2 1.00	2 1.00	13 2.60	96 4.36	136 6.18	8868 2.97
	水痘	9 1.29	1 0.33				2 0.40	12 0.55	16 0.73	1462 0.49
	手足口病					2 1.00	4 0.80	6 0.27	2 0.09	2321 0.78
	伝染性紅斑	4 0.57	2 0.67	6 2.00			2 0.40	14 0.64	10 0.45	805 0.27
	突発性発しん	6 0.86		1 0.33		1 0.50	9 1.80	17 0.77	13 0.59	2370 0.79
	百日咳						1 0.20	1 0.05		66 0.02
	風しん									15 0.01
	ヘルパンギーナ	1 0.14		1 0.33	1 0.50	1 0.50	9 1.80	13 0.59	13 0.59	4630 1.55
	麻しん(成人麻し んを除く)									71 0.02
流行性耳下腺 炎		1 0.33	16 5.33			3 0.60	20 0.91	15 0.68	1026 0.34	
眼科 (3)	急性出血性結膜 炎		*	*	*	*				23 0.03
	流行性角結膜 炎									549 0.83
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								2 0.33	6 0.01
	無菌性髄膜炎									29 0.06
	マイコプラズマ肺 炎	4 2.00	*					4 0.67	1 0.17	126 0.27
	クラミジア肺炎(オム 病は除く)									13 0.03
	成人麻しん									12 0.03

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。

* 欄には定点はありません。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

平成19年第35週 平成19年8月27日(月)～平成19年9月2日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(鳥インフルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
～5ヶ月		～5ヶ月									1					～5ヶ月								
～11ヶ月		～11ヶ月			1	11	2		1	9			2			～11ヶ月								
1歳		1歳			1	15	3	3	2	8			2			1歳								
2歳		2歳		2		7	3	2	2				3		3	2歳								
3歳		3歳			1	8	1		2				1		2	3歳								
4歳		4歳			3	5	2	1	2				4		4	4歳					1			
5歳		5歳			2	7			2						7	5歳								
6歳		6歳		1	7	7									2	6歳								
7歳		7歳			2	7	1		1							7歳								
8歳		8歳			2	4							1		1	8歳								
9歳		9歳			2	5									1	9歳					1			
10～14歳		10～14歳				7			1							10～14歳					1			
15～19歳		15～19歳				4										15～19歳								
20～29歳	1	20歳以上			1	9			1							20～29歳								
30～39歳																30～39歳					1			
40～49歳																40～49歳								
50～59歳																50～59歳								
60～69歳																60～69歳								
70～79歳																70歳以上								
80歳以上																								
合計	1	合計		3	22	96	12	6	14	17	1		13		20	合計					4			
前期計		前期計		4	19	136	16	2	10	13			13		15	前期計			2		1			
当期間/前期	***	当期間/前期	***	0.75	1.16	0.71	0.75	3	1.4	1.31	***	***	1	***	1.33	当期間/前期	***	***		***	4	***	***	
増減数	1	増減数		-1	3	-40	-4	4	4	4	1				5	増減数			-2		3			

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき